



談山神社鏡女王祭り奉納

鏡王女

かがみのおおきみ

大化の改新で活躍した藤原鎌足の正妻「鏡王女」をモチーフに
奈良県桜井市談山神社権殿にて 箏・狂言一人語り・小鼓で奏でます

とき 平成27年6月14日《日》
じかん 午前11時開場 / 11時半開演予定
ところ 談山神社権殿

定員 一〇〇名 料金 二、〇〇〇円

(自由席・要予約・拝観料込)

※詳細は裏面をご覧ください



◇ 箏曲 「鏡王女」

演奏 澤村祐司

◇ 狂言一人語り 「多武峰」

構成作曲 澤村祐司 大江隆子

演者 茂山茂
脚本 大江隆子 監修 曾和正博

◇ 小鼓 無謡一調

演奏 解説 曾和正博

主催 鏡王女奉納会

*「かがみのおおきみ」は、万葉集では「鏡王女」、日本書紀では「鏡姫王」、延喜式では「鏡女王」と記されています。



澤村祐司：箏（生田流）

生田流箏・三絃を金津千恵子、吉澤昌江各氏に師事。東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修了。第2回八橋検校日本音楽コンクール八橋検校賞受賞。第19回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞受賞。



茂山茂：狂言方（大蔵流）

十三世茂山千五郎次男。4歳の時に小舞『柳の下』にて初舞台。二〇一五年より兄・正邦と「傳之会」を発足。自身の研鑽と、次世代の育成に力を注ぐ。平成23年京都府文化賞奨励賞受賞。女性役に定評。



曾和正博：囃子・小鼓（幸流）

人間国宝曾和博朗の長男。現在は東京を中心に全国で活躍。国立能楽堂養成講師・東京藝術大学能楽小鼓教官として指導にあたる。

◆ご奉納「鏡王女」について◆

「神奈備の磐瀬の杜の呼び鳥 いたくな鳴きそ 我が恋まさる」

鏡王女、万葉集より

箏曲「鏡王女」は、この歌をテーマに雅楽の旋律を取り入れ、万葉風なおおらかなイメージで創作致しました。

狂言一人語りも、鏡王女の和歌に登場する呼び鳥（かつこう、うぐいす、ほととぎす、諸説あり）が、談山神社の謂われ、多武峰の風景、鼓の里、鏡王女を語るお話です。

お茶目な呼び鳥を狂言口調で、茂山茂さんの素晴らしい口跡をお楽しみいただけます。

最後に、能楽小鼓方、幸流の曾和正博先生所有の多武峰で作られた胴を用いた小鼓の演奏、及び小鼓の解説を致します。

6月の緑の美しい多武峰に里帰りした小鼓の音色が談山神社権殿に響き渡ることでしょう。



大江隆子：邦楽作家

鎌倉市在住。

東京藝術大学音楽部邦楽別科能楽囃子専攻修了。

鎌倉ペンクラブ会員。



平成27年6月14日《日》11時半開演予定 於：談山神社権殿

◆ 11:00～東殿にて鏡女王祭の御神事後、権殿にて開演（終了12:30ごろ）◆

料金 2,000円（自由席・要予約・拝観料込） / 定員 100名

チケットお申し込み・お問い合わせ

TEL. 0744-49-0001 《談山神社》

TEL. 0467-25-1750 《大江隆子》

*お電話にてお問い合わせの上、下記口座にお振込ください。振込領収書がチケット代わりとなります。

〈お振込先〉 ゆうちょ銀行 記号 00270-6 番号 4904
支店名 ○二九（ゼロニキュウ）当座預金 口座番号 0049404
カマクラコウフウカイ オオエタカコ

主催 鏡王女奉納会

協賛 大和信用金庫・ウラベ木材工業 卜部能尚・桜井木材協同組合

後援 談山神社・桜井市観光協会・かまくら香風会

協力 堀口文雄・竹内秀一・ゲストハウスたむら・鶯鳴庵 表千家 高橋みつ子社中・石野朝子

イラスト 武智功

◎電車◎ JR、近鉄 桜井駅下車。

◎バス◎ 桜井駅南口より「談山神社行」終点下車後、徒歩3～5分。

所要時間約25分/運賃490円(大人片道)…平成27年2月1日現在

・桜井駅発のバスは1時間に約1本です。奈良交通株式会社のホームページ等で時刻表をご確認下さい。

8：12 / 9：25（変更される場合があります） *タクシーは常時、桜井駅南口に待機しています。

◎お車◎ 西名阪道の天理ICを降り、国道169号線を南下するルートが最も分かりやすいです。（天理IC～神社まで約45分）

他に、名古屋方面から名阪国道・針IC、大阪方面から西名阪道・郡山IC、

和歌山・大阪方面から南阪奈道路・葛城ICを経由するルートもあります。（それぞれのIC～約40分）

駐車場：第1～第5駐車場は普通自動車両無料、中型以上は1台につき2,000円